

感想

今回、私は都市環境設計演習として築瀬研究室の、足利市のまちづくりについて「区画整理の設計」を通した演習を専攻しました。課題としては、山前駅北口周辺地区の土地区画整理事業についての演習でした。

演習が始まった当初は、築瀬先生のいつもの授業のような計算から始まり落胆していましたが、その計算の意味も解るようになり、やっとの思いで換地設計問題まで進んだのをいまでも覚えています。演習をやるうちに設計も順調に行き、構想図や計画図を自分の思考で計画し最後までやる遂げることができました。

いまの山前駅は本当に利用するのが不便ですし、北口を開発すれば駅の利用者が増え活気が出ると思い、本気の思いで土地区画整理をやりました。しかし、土地区画整理事業を行って思ったことは、事業者も大変だが住民も複雑な思いをするというのを痛感し、簡単にはできないなと感じました。

これらをふまえて、将来このような事業をするときは今回の演習を活かして、いろいろな視点から考え新しい挑戦をしていき、素晴らしい都市をつくっていきたいと思います。

初めて土地区画整理事業を行って思うことは難しいの一言です。

まず、どのように道路配置していいかわからないし、どれくらいの幅員にしてもいいかわからないことだらけで、悩みながらもこんな風にしたらいいのではないかという発想もでてきたし、悩めば悩むほど、アイデアもでてきて奥が深いと思いました。

住居系の土地利用を想定していたところが、自分が開発構想を策定した区域の中に入っているが途中で途切れてしまい、やむ負えず、商業地域に想定していたところに換地したことが一番のミスだと後から後悔しました。指定した区域にあてはめていく際に、何件かが細長い長方形のようになってしまいました。公共用地をとりすぎてしまったことがこのような原因になってしまったと思います。

したみをしたときに、車がすれ違うのがぎりぎりだったことと、近隣に小学校と中学校があるので、登下校の際に危ないと思い道路の幅員を広く取ったのですが、そうすることが減歩率を高かくし、開住民の人たちに負担をかけてしまった。自分がこういう風にすればいいと思うことが、逆にマイナスな部分が出てくるので、そういったことを考慮しながら、土地区画整理事業を行っていくことはとても難しいことだとこの演習を通して実感しました。

びました。出てくる言葉はどれも初めて習う言葉で覚えるのが大変でした。最初から計算は難しく桁や数が多く計算間違いが多々ありました。初めて換地設計をしてみると思っているようには上手くいかず何度かやり直しました。次の演習ではスムーズに進み思うように計算もでき換地設計も出来ました。既存家屋の位置などはずらさず、保留地をまとめて取ることで使いやすい計画が出来たと思います。最後の演習では開発構想図で時間を取りました。実際に行ってみると概略事業計画などで苦戦しました。プランメーターも初めて使って何度もやり直しました。換地設計では上手く入れ込むことが何個か出来なかったです。大きく土地を取るとそこに入れ込む事は難しく道路など入れてあげる事で使いやすい土地などが出来る事がわかりました。水路の配置でコストがかか

る事や、住民への配置、交差点の設計などの問題点も学びました。このゼミの内容を将来的に役立てる仕事がしたいと思いました。

最後にメンバーにも恵まれ楽しい授業だったと思いました。